

地図と測量の公開講座

「基準点測量」(第1回)

—民間の立場で準則を見直すための研究—

「作業規程の準則」は、全国の公共団体において公共測量を実施する方法の規範として活用され、国内における測量成果の規格の統一の役割を果たすとともに、新技術を適時取り込むことによって、公共測量における新技術の普及の役割も果たしている。

しかしながら、現行の準則には次の課題がある。

- ・新技術には対応しているものの、従前の作業方法に新たな技術が次々と加えられ、規程が複雑になっている。
- ・品質管理は、1977年(昭和52年)の公共測量作業規程の改正後ほとんど未改定である。

これらの課題に対して、日本測量協会は「測量近代化研究会」を設立し、民間の立場で、複雑さを排したシンプルでスリムな作業マニュアル、かつ、これからの時代に対応できる作業マニュアルの整備を目指して研究を進めている。

今回は、基準点測量における測量技術・機器の「実力」を評価し、品質管理や作業方法を改めるための取り組みについてお話しする。

■ 日時 令和6年7月12日(金) 16:00～17:30

※講演:16:00～17:00／質疑応答:17:00～17:30

■ 会場 (公社)日本測量協会 研修室(東京都文京区小石川一丁目5番1号)

■ 講師 村上 真幸 氏 公益社団法人 日本測量協会 副会長

参加費 無料

CPDポイント 測量CPD1ポイント

定員20名

申込み方法

[こちらをクリックして、受付システムによりお申込みください](#)

申込み〆切日 6月28日(金)

(定員になり次第締め切らせていただきます)

お問い合わせ メール: open-ic@jsurvey.jp

Tel:03-5684-3357 (担当:遠藤 拓郎)